

※好評につき、会場を変更いたしました。

兵庫県保険医協会 姫路・西播支部 接遇研修会のご案内

メディカルスタッフの心構え

接遇の基本とクレーム対応

日時 6月18日(土) 午後3時～5時

会場 姫路商工会議所会館 501 ホール

姫路市下寺町43 TEL.0792-22-6001 (代表)

講師 大手前短期大学准教授 水原 道子 先生

参加費 1,000円

定員 100人 (定員になり次第締め切らせていただきます)



医療機関では、健康に不安を抱えた患者さんが安心して頼ることのできる職員とのコミュニケーションが特に求められています。メディカルスタッフの接遇やサービスの質の向上は、医療への信頼と医療機関の印象をいっそう高めることにつながります。

姫路・西播支部では、毎年ご好評をいただいております「接遇研修会」を今年も開催します。今年、大手前短期大学准教授の水原道子先生から、あいさつや窓口対応の仕方などメディカルスタッフに求められる接遇の基本と、トラブルにならないクレーム対応の仕方について、ロールプレイを交えながら、わかりやすくお話いただきます。

新人の方に限らず、ベテランのメディカルスタッフの方も、日頃の業務を見直す機会に、ご参加ください。

お問い合わせは協会事務局・小西、岡本(TEL078-393-1807)まで

※切り取らずにこのままFAXして下さい※ FAX: 078-393-1802

姫路・西播支部 接遇研修会 参加申込書

参加者氏名	職種	経験年数	参加者氏名	職種	経験年数

市町名[] 医療機関名[]
TEL[- -] FAX[- -] 担当者[]

兵庫県保険医協会 姫路・西播支部ニュース

No.173 2011年5月25日発行



発行 兵庫県保険医協会姫路・西播支部 支部長 宗実琴子
連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F
兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1807 FAX/078-393-1802

在宅医療点数研究会で請求の要点解説

「わかりやすい」と好評

姫路・西播支部は4月16日、姫路商工会議所で在宅医療点数研究会を開催し、35医療機関から会員・医療スタッフら66人が参加した。協会地域医療部・副部長の小西達也先生を講師とし、池内春樹副支部長(協会理事長)が司会をつとめた。

研究会は昨年10月発行の「在宅医療点数の手引」のテキストを用い、小西先生が点数算定のポイントを説明。昨年の改定で導入された訪問診療料等の「同一建物居住者」の取り扱いや、在宅で処置を行う場合に注意が必要な「在宅寝たきり患者処置指導管理料」と「在宅時医学総合管



小西先生(左)のわかりやすい説明に、参加者は聞き入った(上)

理料」との関係など、算定のポイントをわかりやすく解説した。

また、要介護認定を受けている患者への訪問看護等は、介護保険が優先されることや、介護保険の訪問看護を受けている場合は、「在宅患者訪問点滴注射管理指導料」の算定対象にならないことなど、レセプト事例も示しながら算定の間違いやすい点について注意を促した。

(2面に参加者の感想)

<在宅医療点数研究会参加者の感想>

(アンケートより抜粋)

- ・参考になりました。ありがとうございます。次回もぜひ参加したい。
- ・わかりやすい例などをあげていただいたので、理解しやすかった。
- ・要点だけをまとめてあり、とてもわかりやすかった。
- ・テキストの請求事務編がわかりやすくてよい。
- ・特別養護老人ホームの入所者の請求を詳しく聞きたかった。
- ・公費負担についての講義もぜひお願いしたい。
- ・楽しくわかりやすかったので、また聞きたい。



あいさつする池内副支部長



第233回幹事会から

4月16日(土) 於 姫路商工会議所 参加 5人

- ◆姫路・西播支部の会員数 647人(医科 442人、歯科 205人)
- ◆情勢と運動対策、その他 自治体の子ども医療費無料化政策や福島第一原発事故について意見交換を行った。
- ◆支部の活動・企画 接遇研修会(4面)、支部総会などについて意見交換を行った。

会員の先生はどなたでもご参加いただけます。
お問い合わせは、Tel 078-393-1807 小西まで。

◆姫路・西播支部第26回支部総会のご案内◆

日時 7月30日(土) 14時～17時

会場 姫路商工会議所

第1部 総会議事(新202会議室 14時～14時45分)

第2部 記念講演「褥瘡ケアチーム(仮)」
(新201研修室、15時～17時)

講師 神戸協同病院副院長 石川 靖二 先生

※終了後、懇親会(会費無料)

お申し込み・お問い合わせは、Tel 078-393-1807 小西、岡本まで。

会員投稿

「5.3憲法を守るはりま集会」参加記

国民とともに憲法を守る運動を

赤穂郡・歯科 白岩 一心

5月3日(火)に、池内理事長が呼びかけ人に加わっている第33回「5.3憲法を守るはりま集会」に参加しました。播磨地区の9条の会が主体となる集会で、私は4年連続参加です。姫路市文化センターで行われましたが、趣旨に賛同する市民540人で大きなホールが埋め尽くされました。

私は、赤穂郡上郡町9条の会の準備会から設立に関わり、そして現在も9条の会のメンバーとして活動にできる限り参加を心がけています。

今年は、講師にジャーナリストの堤未果先生をお迎えして、「貧困大国アメリカと日本の未来」と題して、ご講演されました。アメリカの貧困格差の実情と、日本の現状はアメリカのたどる動きと似ていることもお話されました。

一番興味を引いたことは、やはり医療市場化の恐ろしさです。TPPによる関税自由化では、国民皆保険制度は必ず崩壊し、アメリカの営利目的で徹底したコスト削減を行う企業の大幅な進出に、日本の産業が全て巻き込まれる危惧がある、などのお話をされました。

一般市民を対象とした公開講座で、医療に携わらないジャーナリストが語る悲痛な現実の話には、私たち医療従事者がお話するより、強い説得力も感じました。

患者さん、市民、県民、国民に真実を知らせて、一緒に国民皆保険制度を守る運動を展開すること、さらに医療の利益誘導・営利目的の市場化に断固として反対をしていくことは大切です。憲法25条の生存権に基づく、国民の命を守る運動、憲法を守る運動の大切さを強く感じました。

私たち市民が、憲法を守り、未来へ繋げる大切さも集会に来られた人たちに訴えておられました。

東日本大震災後から、言論の自由が脅かされたり、学問の自由が脅かされたり、情報公開が制限されたり、財産権も脅かされたりと、大震災対応の裏で進む国会運営も怖いと思いました。

毎年、憲法記念日には、護憲運動に参加して主張することが、市民参加の真の草の根運動だと思い知らされます。医療に携わる人間として、今後も市民を巻き込んだ運動に参加したいと思います。

「憲法を守る、はりま集会」が来年以降も盛大に行われることを強く感じました。

投稿募集!

姫路・西播支部ニュースへの投稿を募集しています。趣味や日常お考えのことなどテーマは問いません。ぜひお寄せ下さい。



FAX: 078-393-1802 E-mail: konishi-s@doc-net.or.jp
担当事務局 小西まで